

板書例

めあて
自分の思いが伝わるように
ポスターセッションをしよう。

ポスターセッション

話し方のやくそく

①言葉
②言葉の表し方
③顔(目線、スマイル)
④体(姿勢、身振り)
⑤物(資料、実物)
⑥時間(タイム、タイミング)
⑦場面(場所の使い方)
⑧色
⑨心

言葉を助ける。

言葉を助ける。

質問はありませんか!?

評価問題へ

本時の流れへ

HOME

ポスターセッションの具体的展開例

- T 皆さん、今日の授業のめあては、何でしたか。
- C1 「自分の思いが伝わるようにポスターセッションをしよう」です。
- T そのとおりです。今日はよいよポスターセッションの本番です。
では、司会の人にバトンタッチします。よろしくお願いします。
- C1 司会はわたし○○です。よろしくお願いします。それでは、第一回目のポスターセッションを始めます。最初の発表者は○○さんです。では、○○さん、よろしくお願いします。
- C2 わたしはヘレン・ケラーについて発表します。……
- C1 ○○さんありがとうございました。ここからは、交流の時間です。時間は一分半です。○○さんの発表についての質問はありませんか。たくさん、手が挙がりましたね。
- C3 質問します。わたしは、ヘレン・ケラーはもろろんえらいと思います。でも、サリバン先生のがんばりもすごいと思いました。
- さんは、サリバン先生については、どう思っていますか。
- C1 いい質問ですね。この質問と同じような質問は、ありませんか。
- C4 わたしも、サリバン先生についても…。
- C1 では、○○さん、まず、サリバン先生についての質問から、答えてください。どうぞ。
- C2 わたしも、サリバン先生もヘレンケラーと一緒になつて「奇跡を起こした人」だと思っています。なぜかという、サリバン先生がいなければ、…
- C1 みなさん、たくさん発表していただいて、ありがとうございました。とても話合いが深まったと思います。では、振り返りに入ります。発表者の○○さんは「改善シート」、聞き手の皆さんは付箋に記入してください。
- ワークシートによる前時のリハーサルをもとにしつつも、聞き手の質問に応じた受け答えができるように工夫させる。
 - できるだけ数多くの質問をすることにより交流して考えを深めることが、ポスターセッションのよさであることを伝える。
 - 机間指導を通して、発表や聞く態度、言葉や表現についても評価して、よい点に気付かせる。
 - 国語科以外の他教科等でも「話し方のやくそく」を実践するよう指導する。